

荒川 繁 (北海道教育大学釧路校) 著

第一インターナショナルとマルクス主義

A5 判上製 524 頁 本体 4500 円

マルクスの第一インターナショナルでの活動を、その中で発展させられてきたマルクスの理論と結合して、体系的に整理する。マルクスの理論は、当時の労働運動・社会運動の中で、その実践に基づいて展開されてきたものである。

(主要目次)

序 文	第2節 普仏戦争とパリ・コミューン
第1節 第一インターナショナルと『資本』	第3節 国際労働者協会 ロンドン協議会
《資料1》いわゆる本源的蓄積『資本』初版	第4節 ロンドン協議会の意義
第2節 『資本』初版の序文	《資料》マルクスとブランキ主義
第3節 『資本』第二版のあとがき	第4章 国際労働者協会と組織構成
《資料2》『資本』第I部、新メガII/5,6,7	——総評議会と各国組織を中心に——
(初版,第二版,フランス語版)の「前おき」	第1節 第一インターナショナルの規約改正
第1章 マルクスによるイギリス労働組合主義批判	第2節 1864年の暫定規約から1869年の規約改正
第1節 M.リュベルの問題提起	まで
第2節 1864年の「創立宣言」と「暫定規約」	第3節 1871年ロンドン協議会からハーグ大会までの
第3節 労働組合による賃上げ闘争をめぐるマルクス	規約編集
とウェストンとの論争	第4節 第一インターナショナルの組織原則
第4節 国際労働者協会 第一回ジュネーヴ大会	《資料1》「共産主義者同盟規約」(1847年)
(1866年)	《資料2》「共産主義者同盟規約」(1851年)
第5節 労働組合の意義	第5章 1872年のハーグ大会——資本制的蓄積の歴史
《資料》オーエン主義とチャーティズム	的傾向——
第2章 1868年のブリュッセル大会と1869年の	第1節 政治的決議とバクーニン主義
バーゼル大会	第2節 ロンドン協議会からハーグ大会まで
第1節 第一インターナショナルと大会	第3節 国際労働者協会 第五回ハーグ大会
第2節 国際労働者協会 第三回ブリュッセル大会	第4節 ハーグ大会の意義
第3節 国際労働者協会 第四回バーゼル大会	第6章 マルクスの教育論
第4節 大会の意義	第1節 第一インターナショナルと児童教育
《資料》P. J. プルードン	第2節 1866年大会から1869年大会まで
《資料》標準労働日のための闘争, 機械と大工業,	第3節 『資本』の教育条項
機械経営の発展に伴う労働者の反発と吸引	第4節 マルクスの教育思想
第3章 1871年のロンドン協議会	《資料》生産的労働と教育の結合について
第1節 第一インターナショナルとパリ・コミューン	

株式会社 創風社

東京都文京区本郷 4-17-2
soufusha.co.jp

振替 00120-1-129648 TEL03-3818-4161
FAX03-3818-4173

きりとり線

創風社刊
申し込み書

TEL03-3818-4161
FAX03-3818-4173

書店でご購入の場合、この用紙をお持ちください。

取り扱い書店名

荒川 繁 著
第一インターナショナルとマルクス主義

ISBN978-4-88352-258-3

本体 4500 円 () 部

創風社図書目録希望 () 部